



Title	HUSCAPレター 第14号 : 私の研究 : 山村高淑 観光学高等研究センター准教授 「アニメ聖地の成立とその展開に関する研究 : アニメ作品「らきすた」による埼玉県鷲宮町の旅客誘致に関する一考察」
Issue Date	2009-10
Doc URL	http://hdl.handle.net/2115/88215
Type	periodical
File Information	hletter14.pdf



[Instructions for use](#)

北海道大学学術成果コレクション

HUSCAP レター

学術成果コレクション (HUSCAP) は、北海道大学の研究者や大学院生などが著した学術論文、学会発表資料、教育資料などを電子ファイルで保存し、WEB で公開するものです。誰でも、無料で読むことができます。

私の研究

山村 高淑

観光学高等研究センター准教授

「世代の継承」と「地域間交流」という二つの軸

私はツーリズムを、より人間らしく心豊かに生きられる社会をつくっていくための交流の手段であり仕組みであると位置づけたい。そしてツーリズムを二つの軸で捉えるべきだと考えている。ひとつ目は時間軸。すなわち世代間の交流。文化の継承と創造、生と死、教育というテーマと深く関連する。二つ目は空間軸。すなわち地域間の交流。寛容性と相互理解をどう生むか、文化的安全保障論にまで展開可能なテーマである。そしてこれらを縦軸と横軸にとり、その接点に交流の場としての地域を設定してみる。こうした仕組みをどのように作り出したら良いのか？具体的な事例を取り上げ、現場から解明していきたい、それが私のテーマである。

鷺宮町商工会との共同研究

わしみやまち
2007年、埼玉県鷺宮町がロケ地のひとつとなったアニメ「らき☆すた」の放映以降（写真1）、地元商工会が中心になり、アニメファンと地元商店街が協力する形で、様々な商品開発やイベントが開催されてきた（写真2）。そんな中、私も一アニメファンとして何度か現地を訪れ、商工会の皆さんのノリの良さ、ファン心理をくすぐる手作り感覚のイベントや、商店街の個人事業主さんのアニメへの理解に、深い感銘を覚えた。それと同時に、上述したようなツーリズムの考え方、「二つの軸の接点」として鷺宮町を見てみると、かなり先駆的な取り組みなので





写真1：鷲宮神社（アニメのロケ地のひとつ）の絵馬掛け所にはアニメファンの皆さんの願いが掛る

はないか、と感ずるようになった。

こうした次第で、商工会の皆さんにいろいろとご教示を頂くようになり、であれば、是非、これまでの取り組みを成功・失敗含めてしっかり記録に留めて客観的に整理し、地元の方々をはじめ、まちおこしに関わる全ての皆さんに還元して今後役に立ていただくことはできないだろうか、ということで共同研究が始まった。これが昨年からはじめ、鷲宮町商工会さんと観光学高等研究センターとの共同研究「メディアコンテンツとツーリズムに関する研究」であり、その成果の一部が、今回取り上げて頂いた拙稿である。

HUSCAP の可能性

こうした経緯を踏まえ、この共同研究では、調査・研究成果を以下の三つの方針で公開することを試みた。すなわち -- ①いち早く速報性をもって、②専門家や一部の人だけでなく、関心のある全ての人々に、③自由に使ってもらえるように -- 公開することである。しかし、いざそうした仕組みを作ろうと思うと、既存の学会や学術雑誌は専門家による専門家のためのものであり、ほとんど役に立たない。

そこでお世話になったのが HUSCAP である。HUSCAP の利点のひとつは、学術論文だけでなく、調査報告や講義資料、プレゼンテーションまで幅広く

アップでき、それを世界中の誰もがアクセスできる点にある。これが上述した公開方針にぴったりと合った。さらに画像等で重くなってしまう報告書データも HUSCAP で保存してくれるので、あとは登録された URL を必要なホームページにリンクすれば良い。

こうして情報を公開することによって、現場の方や関係者の方々から次々と情報を頂けるようになった。こうした交流のおかげで、東京国際アニメフェアにて開催されたシンポジウムに登壇させていただいたり、埼玉県庁のアニメ・ツーリズム検討委員会に参加させていただいたり、様々な業種の素晴らしい皆さんと一緒に仕事をさせて頂く機会を頂戴し、本当に光栄に感じている。

研究で得た知見は学会のみならず、広く世の中に還元し、人々の幸福のために役立てていかなければと思う。そしてそうしたことを気付かせてくれるのが、大学や研究室や学会ではなく、現場なのである。今回の研究を通して得た出会いを大切にしていきたいと思う。

最後に、この一連の研究は、鷲宮町と幸手市の両商工会の皆さん、地元の皆さん、アニメファンの皆さんのご協力がなければ到底進めることができなかったものである。この場を借りて心から御礼申し上げたい。



写真2：鷲宮町商工会/青年部と幸手市商工会共催のイベント「萌えフェス in 鷲宮 2009」（2009年7月18日）

山村高淑（やまむら たかよし）

アニメ聖地の成立とその展開に関する研究：アニメ作品「らき☆すた」による埼玉県鷲宮町の旅客誘致に関する一考察

『国際広報メディア・観光学ジャーナル = The Journal of International Media, Communication, and Tourism Studies』第7巻 2008年11月：145-164

HUSCAP で本文を読むことができます。